

福岡大学病院歯科口腔外科における過去31年5か月間の 入院患者の臨床統計的検討

齋木 正純¹⁾ 池山 尚岐²⁾ 梅本 丈二²⁾
手島 将²⁾ 鯨坂 正秋¹⁾ 井上 育子²⁾
高橋 宏昌²⁾ 青柳 直子²⁾ 井上 真里²⁾
内山 順誠²⁾ 葉山 揚介²⁾ 中島由美子²⁾
豊福 明²⁾ 喜久田利弘²⁾

¹⁾ 医療法人白十字会白十字病院歯科口腔外科

²⁾ 福岡大学医学部歯科口腔外科学講座

要旨：1973年8月から2004年12月までの過去31年5か月間に福岡大学病院歯科口腔外科で入院下治療した患者2693例について地域への貢献を把握する目的で臨床統計的検討を行った。

1. 31年5か月間の新来患者総数は34,877例で入院患者総数は2693例（7.7%）であった。
2. 年齢別では20歳代が最も多く、次いで10歳代、10歳未満、30歳代の順であった。
3. 疾患別では口腔顎顔面外傷658例（24.4%）、歯牙・歯周疾患530（19.7%）、歯性感染症497例（18.5%）であった。
4. 受診患者は、紹介なしの直接受診、歯科開業医からの紹介が多かった。
5. 地域別では福岡市西部地域が50.6%を占めていた。

今回の臨床統計的検討から、当科の地域的貢献は比較的高いものと示唆された。

キーワード：臨床統計的検討，入院患者，歯科口腔外科